

令和4年度東京都多摩地域公立図書館大会開催要項

『DX と図書館Ⅱ ～DX 推進にあたって～』

1 趣 旨

国の自治体 DX 推進計画では、自治体は、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術や AI 等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくことを求めています。

電子図書館に代表される図書館の DX は、現在のところ、住民の利便性向上に一定の成果をあげています。しかし、自治体規模によって制約を受けるところも大きく、また、求められる業務効率化との間で、図書館職員は苦慮しながら模索を続けている状況でもあります。

昨年度の大会では、情報化や DX が進む中で、ポストコロナに図書館の役割がどのように変わっていくのかを考えました。

今年度は、昨年度に引き続き、図書館における DX の推進を主題に据え、昨今の図書館の現場における DX のあり方について考えてみたいと思います。

2 主 催 東京都市町村立図書館長協議会

3 後 援 東京都市教育長会、東京都西多摩郡町村教育長会、
公益社団法人日本図書館協会

4 会 期 令和5年1月26日（木）、27（金）

5 会 場 東村山市立中央公民館 ホール

6 日 程

第1日目 1月26日（木）

9:30	受付
10:00	開会式 第1分科会 館長協議会 『実務の現場から』 講師：日向 良和氏（都留文科大学 教授） 図書館における DX という、電子図書館を思い起こす方が多いのではないかと。他人と接することなく、自宅ですべて借りられる電子図書館は、コロナ禍における注目のサービスである。しかし、導入している自治体からは、様々な課題も聞こえてくる。電子図書館を始めとする図書館の DX 推進に関し、現場で実務に携わる職員が日頃から思っている課題や疑問を、ともに考えてみたい。
12:00	
13:30	受付
14:00	第2分科会 三多摩地域資料研究会 『地域資料の活用とデジタルアーカイブ』 講師：蛭田 廣一氏（元小平市中央図書館館長 認定司書 2024 号） 市町村における地域資料のデジタルアーカイブの取組については、予想以上に進んでいる先進図書館がある一方で、未着手の図書館も少なくない。地域資料のデジタル化を進めるためには、政策立案とデジタルコンテンツの充実及びこれまで収集した資料の活用といったデジタル戦略が求められる。地域資料のデジタル化に関する小平市立図書館での取り組みや先進事例をはじめ、基礎的な知識とアーカイブ構築の手順などを紹介し、地域資料を活用したデジタルアーカイブの可能性を考える。
16:00	

第2日目 1月27日(金)

9:30	受付
10:00	第3分科会 障がい者サービス研究会 『図書館利用に障害のある人々のサービスのこれから』 講師：佐藤 聖一氏 埼玉県立久喜図書館
12:00	「図書館利用に障害のある人々へのサービス」の考え方、資料、サービスについて概説する。特に、点字や音声デイジー等の障害者サービス用資料が、全国的な相互貸借とネットワークにより図書館相互に利用できるようになっていることを説明する。さらに、障害者個人でダウンロード等して利用できることも案内する。 障害者の情報入手の現状や電子書籍の利用等を含めて、今後の展望を考えていきたい。

- 7 対 象 図書館職員及び一般の方（全講演に手話通訳が付きます）
- 8 参加費 無 料
- 9 申込方法 一般の方は、当日直接会場へ。
図書館職員、図書館協議会委員及び読書団体関係者等については、各図書館で参加希望者を取りまとめ、大会事務局へEメールにて事前申込みとする。
- 10 受付期間 令和5年1月6日（金）まで
- 11 会場案内 東村山市立中央公民館 ホール
住所：東京都東村山市本町2-33-2
西武新宿線東村山駅 東口徒歩2分
グリーンバス「東村山東口」下車、徒歩2分

地 図



- 12 問い合わせ 東京都多摩地域公立図書館大会実行委員会事務局
福生市立中央図書館（担当：宮林）
TEL：042-553-3111 / FAX：042-552-1722
E-mail：f-libra@city.fussa.lg.jp